

公表 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		New Step大阪2nd吹田青葉丘教室		公表日		令和7年5月1日
環境・体制整備	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	最大限のスペースの活用。また利用人数に見合った運動プログラムを提供する等、工夫しています。	日々の整理整頓や配置換え等も含めて、定期的に実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	基準に沿った配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	その日のスケジュールの視覚化を実施しています。事業所内入口に2段の階段がありますので、支援員の見守りやサポートにて、安全面に配慮した対応を行っています。	その時々で通所される児童に沿った対応を行えるように、定期的な見直し、対応を実施していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	児童の通所前、通所後に教室内や物品の消毒清掃等を行っています。遊びや活動スペースを広く取れるような、工夫した配置を行っています。	
業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	気持ちの沈んでいる時等、一人で落ち着ける。また支援員とゆっくりとお話を行えるスペースを確保しています。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	9	2	細かな報告、情報共有の話し合いを実施しています。非常勤支援員に対しても、連絡ノート等活用しながら周知を回っています。	児童の通所前に近況の確認。またその日の療育終了後、非常勤支援員も含め振り返りを行う事で、各職員間で必要な情報共有を回していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	毎年度末に、保護者アンケートを実施しています。頂戴のご意見や課題点等を把握し、改善を回っています。	課題の整理を行い、支援員間で話し合いを実施し、ご意見等の周知、改善を回していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	定期的に聞き取りを行い、課題の集約を行う事で、その後の改善に向けて対応を行っています。	確認出来た課題に対して、各支援員に対して、対応策について更に周知を回れるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4	完全な外部評価を行っていません。	外部評価を取り入れた評価を行えるよう、検討を進めていきます。
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	研修計画に沿った各支援員に対する研修機会の確保。また事業所単位、法人単位による研修機会を確保しています。	今後も引き続き様々な状況を想定した研修を実施していき、支援員の資質向上に努めていきます。
	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ガイドラインにて示されている「5領域」について、総合的な支援を行える形にて支援プログラムの作成・公表を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	お子様、保護者様への聞き取りやアセスメントを実施し、ニーズを踏まえた上で個別支援計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	モニタリング実施時は、日々の個人記録、各支援員からの意見等も含めて実施しており、多角的な視点にて個別支援計画書を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	支援に携わる支援員については、随時確認が可能な状況としており、児童通所前には計画に記載している支援における注意点等も随時周知を回っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	アセスメントシートを作成しており、常時更新しています。日々のお子様の様子については個別記録、また気になる状況がある場合は別途行動分析シートを活用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	モニタリングによる直近での様子やニーズも含め、5領域だけでなく本人支援や家族支援等、家庭状況にも配慮した形で支援内容を設定し、個別支援計画書へ反映をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	常勤支援員を中心とし、各支援員の長所を活かしたプログラム作成を行っています。	非常勤支援員に対しては、取り組み内容に対して更なる周知についても深めていけるように対応を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	日々プログラム内容の検討を行い、お子様が興味を持てるよう柔軟なプログラム作成に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	集団活動が基本ではありますが、必要に応じて個別支援、個別対応を織り交ぜた対応を行っています。	必要な部分につきましては、個別支援計画書の方へ反映してきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	通所児童の近況等の情報共有や確認。また各支援員の当日の役割確認等の機会を毎回設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	支援終了後にてお子様の当日の様子も含めて振り返りながら情報共有を回っています。	連絡ノートを作成し、幅広く情報共有を回する事が出来るようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	日々の様子の変化等を把握出来るよう、毎回記録を残し、今後の支援に繋げています。	個別支援計画書に記載している課題に沿った部分については、特に重点的に記録へ残し、検証は改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	2か月毎にモニタリングを実施しており、個別支援計画書の継続や修正等の見直しを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者の出席を基本としています。状況に応じて最速で判断する支援員が出席する等、柔軟に対応を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	保護者様とも連携を図りながら、必要に応じてお話し合いでの情報共有や相互確認等を各関係機関を行っています。	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を回っているか。	9	2	必要に応じて開催されるサービス担当者会議や、支援面での確認等に該当する各関係機関と連絡調整や相談、報告等の相互確認を行っています。	今後も引き続き各関係機関との連携面については更なる協力を回っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を回っているか。	9	2	支援内容等の情報共有が必要な場合は、保護者様同意のもと、情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	10	1	随時連携を回っています。研修会等が開催される場合は、積極的に支援員の参加を行っています。	連携、また研修会等に参加する中で得た知識等については、各支援員に周知をしています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	4	課外活動等の際に、現地や地域の方との交流機会を設けています。	交流機会提供については、現状では十分とはいえません。利用されている保護者様のニーズも随時確認しながら、引き続き検討を進めていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	連絡ノートだけでなく、電話やライン等も活用しながら日々の様子や課題等について情報共有を回っています。	面談等の活用、また情報共有しやすい環境作りにも努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4	保護者様からのお困りごと等の相談に対して、電話や面談等にて対応を行っています。	対応を行っています。現状十分とは言えませんが、今後もきめ細かい対応やサポートを行えるように検討・改善を進めていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	ご契約の際にご説明をしています。ご不明点がございましたら、改めてご説明を行い、その他のサポートも行っています。	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	個別支援計画書の作成の場合は、お子様や保護者様のご希望の聞き取りを行った上で個別支援計画書の作成を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	個別支援計画書の仮案を保護者様へ提示し、保護者様の同意を得た上で個別支援計画書成案としています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	保護者様から悩み事や相談事があった際、電話や面談等を通して、迅速な対応を心掛けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	4		令和6年度も、社会情勢等を鑑みて、保護者会の開催が難しい状況となりました。保護者様の希望も考慮しながらではありますが、保護者会再開に向けて検討を進めていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	お子様や保護者様よりご相談を受けた場合は、必要事項の確認を早急に行った上で回答する等、迅速な対応を心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	定期的に保護者様へ向けて会報の方をお配りし、情報共有を回っています。	定期的な会報の配布を継続出来るよう、事業所として準備を進めていきます。
	42	個人情報取扱いに十分留意しているか。	11	0	保護者様に対してはご契約時にご説明と共に、同意書も頂いています。また、全支援員に対して個人情報取扱いに関する指導・管理を徹底しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	契約書類につきましては、拡大版やルビ版等を作成、準備をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を回っているか。	6	5		現在、地域での行事開催については出来ていません。社会情勢等も含め、今後も検討を重ねていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	保護者様に対しては、ご契約時にご説明の方を行っています。	周知方法については引き続き検討が必要な部分と認識しています。事業所にお越しの際の簡易配布等、周知方法については引き続き検討を進めていきます。
非常時等の対応	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	BCPの策定と共に、事業所内にて定期的に避難訓練やマニュアル等の確認、周知を回っています。	周知されているお子様につきましては、定期的に防災センター等での体験学習を行える機会も引き続き提供していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	通所前のアセスメント時、またアセスメントシートを活用し、お子様の健康面について確認や周知を行っています。	必要に応じて、保護者様に対して医師の診断書や指示書の提出を求めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	事前のアセスメント時にて、通所されるお子様にアレルギーの有無等の確認を実施しています。	アレルギー対応に伴い、必要だと判断した場合は、保護者様に対して医師の診断書や指示書の提出を求めています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を作成し、その中で計画的に研修や想定訓練等を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が回られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	安全計画に基づき、定期的に資料等の配布を行っています。	今年度も引き続き会報と共に、また資料をお渡しする等、配布や周知方法につきましては検討を続けながら、幅広く情報提供を行えるよう取り組みを進めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	事務所内にてファイリングしており、長時間閲覧可能としています。また、法人内委員会にて集約や検討を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	定期的に虐待防止委員会を開催しており、また外部の虐待防止研修につきましても、積極的に支援員の参加を行っています。	
	53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従事者に周知徹底しているか。	9	2	虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を定期的に開催しています。委員会報告書等を活用し、他支援員に対して周知を回っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1	身体拘束0に向けて取り組みを行っており、身体拘束は行っていません。	